

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年8月23日 第21報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体系数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	2		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	10		
(藍) <i>Chroococcus dispersus var. minor</i> *	10		
(藍) <i>Chroococcus minutus</i> *	10		
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	1		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	100		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	80		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	30		
(緑) <i>Eremosphaera eremosphaeroides</i>	10		
(緑) <i>Pediastrum duplex</i>	13		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	3		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	1		
(緑) その他の緑藻	70		
(他) その他の植物プランクトン	20		
(藍) 藍藻綱	33	8.7	0.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	10	2.6	5.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	2.6	1.1
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	47.4	65.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	127	33.4	28.2
(他) その他のプランクトン	20	5.3	0.0
総細胞数	380	総体積	2.8E+05
種類数	16	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体系数(群体系数/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Epistylis sp.</i>	240

第2優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Keratella cochlearis var. macracantha</i>	60

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

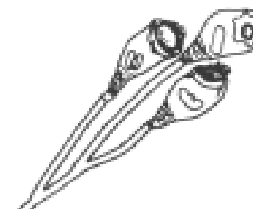
植物プランクトン第1優占種



Cryptomonas sp.
(クリプトモナス)
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんでいる。
等長の2本の鞭毛を持つ。

動物プランクトン第1優占種



Epistylis sp.
(エピスティリス)
繊毛虫類

体は円錐状であり、前端に円形の
囲口部がある。

コメント:

植物プランクトン相は、珪藻綱の占める割合が減少し、全体的にも総細胞数は少なかった。また、8月20日に大津市打出浜でアオコの発生が確認されたが、本調査でもアオコ構成種であるマイクロシスティス、アナベナが少数ながら観察されている。
動物プランクトンで優占となったエダワカレツリガネムシは、ツリガネムシ(*Vorticella sp.*)がメロシラ等の他のプランクトンに付着して浮遊するのに対し、自力で浮遊し細菌や鞭毛虫を捕食する。